

松江市立天文台～8月の天文教室～

平成27年 8月19日

8月下旬午後8時頃の星空～北



太陽が沈んで暗くなると、南西の低い空にはオレンジ色の土星が見えています。近くにあるさそり座のアンタレスと色を比較してみましょう。

頭の真上には夏の三角形が見え、まだまだ夏の雰囲気ですが、東からは秋の代表的な星座、ペガスス座やアンドロメダ座が姿を見せはじめました。

夜風がちょっと涼しくなって、季節が少しずつ動き始めているのが実感できます。

8月下旬午後8時頃の星空です。

月、土星の位置は8月19日現在のものです。

各天体の見かけの大きさは強調してあります。

この星図で星を探すときは、見る方角を下にしてみましょう。

今夜の月

今夜の月は月齢4、三日月から少し大きくなり始めたところです。
明るく見える部分は「山脈」といい、小天体が衝突してできたクレーターがたくさんあります。
一方、暗い色に見える平らな部分は、「海」といい、溶岩が流れ出して出来たと考えられています。

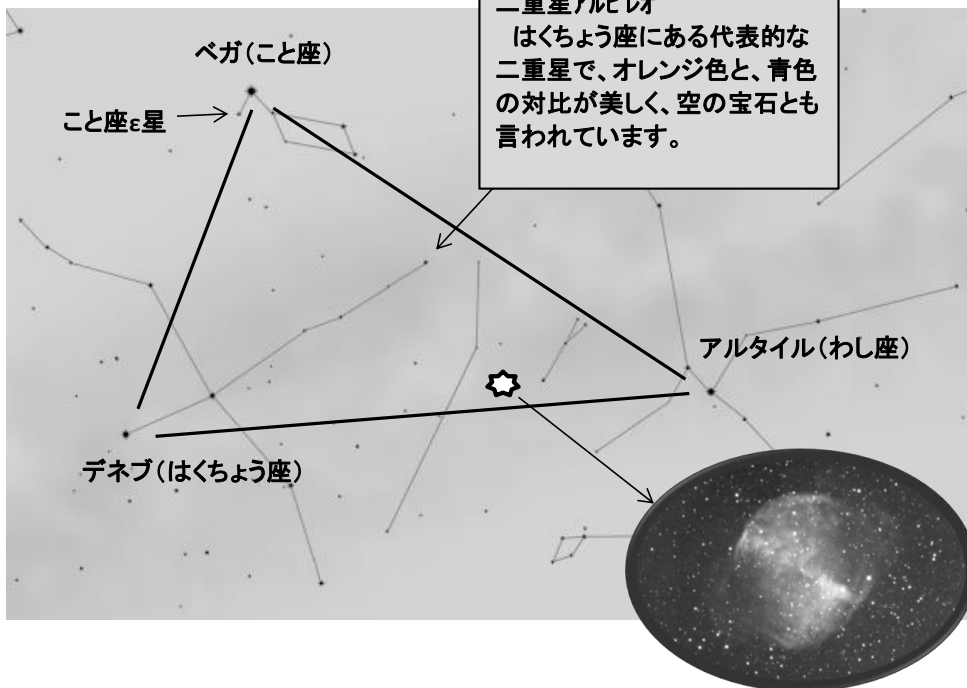


土星

土星は、私たち地球と同じく太陽を中心に回る惑星で、その大きさは、直径約12万キロ(地球の約9.5倍)、美しいリングを持っています。
リングの正体は、数mmから数10cmの氷や岩石で、リングの厚さは数百mとされています。
この夏は、てんびん座とさそり座の間で、リングを広げた美しい姿を見せてくれます。
すこし離れて土星最大の衛星タイタンも見られます。



夏の大三角



天体望遠鏡で見たM27

資料のデータは天文年鑑、アストロアーツから引用しています。
使用する天体望遠鏡によっては、視野の上下左右が逆に見えます。
また、空のコンディション(雲、透明度)により、天体の見え方は違います。

次回の天文教室

開催日 9月16日(水) 20時から21時まで
(受付は19時30分から市役所正面玄関で行います。)
事前の予約は不要です。



★ MAC Matsue Astronomy Club
松江星の会